

タイタン TITAN-180000 フルパワー 180万ボルト 充電式

表

説明書・注意事項

動作(放電)テストは 1 回 1 秒以内です!

無駄な放電や連続使用、充電は絶対にしないでください。

回路が焼け焦げて動作しなくなります! (スタンガンの寿命)

この商品は護身用品です。護身目的以外に絶対に使用しないでください。また、対人間を想定して設計されております。使用によりいかなる損害が発生しても一切の責任は負えませんのでご了承ください。護身用でもみだりに携帯したり使用方法、使用する場所、使用する状況によっては軽犯罪法や条例に抵触することがありますので十分に注意してください。国外に持ち出す場合や公共の交通機関への持ち込みは禁止されていないか事前に関係機関へ確認をお願いいたします。

この製品は充電アダプターによる充電式です。納品時にはある程度充電されていますが、まず 1 時間ほどの充電で動作確認をお願いいたします。正しい使用方法で空中放電しない場合には、さらに 1 時間の充電で動作確認をしてください。

充電が無く放電しない状態での充電時間は 3~4 時間です、それ以上の連続充電は絶対に行わないでください。追充電の場合は 1 時間の充電ですが、年に何度も充電が必要になるような使用法は行わないでください。

充電は自動的に終了しません。過充電は故障や充電電池の発火、破裂を招くことがございますので十分にご注意ください。

暴漢などに押し付けずに放電させると、放電部位に電気が走り、音が鳴りながら光が出てスパークします。これだけでも威嚇効果があります。暴漢などに押し付けて放電する場合は、3~5 秒位放電しましょう。もしもの時の威嚇でも、空中放電は 2 秒ほどにとどめておきましょう。放電をやめた後も内部の電気回路に電気が残っておりますので電極部分には直接触れないようご注意ください。長時間の空中放電は故障の原因となりますのでご注意ください。

暴漢への使用に効果的な部位は方、下腹部、太ももです。基本的には筋肉を狙ってください。

中でも下腹部が最も効果的です。眼球を含む顔面や心臓、首回り窓の危険部位は避けるようにしてください。

○使わない時

- ①充電、セキュリティピンストラップの装着を確認します。
- ②本体横のモードスイッチを OFF にします。
(誤って放電スイッチを押しても放電しません)

○使うかもしれない時

- ①充電、セキュリティピンストラップの装着を確認します。
- ②モードスイッチを放電モードの位置にしておきます。
※スタンバイできている場合はスイッチ近辺ランプが赤く点灯します。

放電部

フラッシュライト

放電スイッチ

押す: ON

モードスイッチ

前: 放電モード
中: ライトモード
後: OFF

セキュリティピンストラップ

充電アダプター差し込み口 (兼用)

本体を奪われた時の為、セキュリティピンストラップが抜けると放電しません。充電後はストラップの装着忘れにご注意ください。

詳しい使用法は本紙裏面を参考にしてください。

放電時にはなるべく本体の後端部をお持ちください。ご自身が感電してしまいます。

※特に本体の裏側(自分から見えない側の指にご注意ください)。

フラッシュライトの使用で充電が減ってしまい放電しなくなる場合があります。使いすぎにご注意ください。



○充電の方法 (空の状態 3~4 時間、追充電は 1 時間、使用していない場合は 4 ヶ月に 1 度 1 時間) 充電は付属の充電アダプターを使用します。差し込み口はスタンガン本体のセキュリティピンストラップが差し込んである部分です。モードスイッチを OFF にし、マスター電源も OFF にします。充電アダプターの上部に、充電状態ランプがあるタイプがございます。※ロットによってはランプのない違うタイプのものが付属します。

充電状態ランプがついているものでも、ランプの色(赤と緑)を気にする必要はございません。

充電は自動的に止まりません。過充電は電池寿命を縮め、最悪の場合には充電電池が先火、破裂してしまう場合がありますので十分にご注意ください。

充電が終わったら忘れずにセキュリティピンストラップを差し込んでください。

★スタンガンの寿命について★

スタンガン半永久的に使用出来るものではありません。スタンガンは消耗品だと言われることがありますが、まさにその通りです。スタンガンは電池の数ボルトの電気を交流に変換し、空中放電できるまでの高電圧に昇圧します。限られたスペースの中で限られた部品でそれを行っております。従ってその部品にかかる負担は大きなものとなります。この負担に耐え続け、スタンガンはある時、部品の寿命を迎え放電しなくなります。電池を変え続ければ(充電し続ければ)永遠に使用できるわけではありません。そのため、寿命を延ばす方法を考える必要があります。それは無駄な放電を出来るだけ避ける、という方法です。たまたま電池の状態を確認するだけの放電であれば長期間使用できます。スタンガンがすぐ壊れてしまった、という方の共通点は、無駄な放電を繰り返している、ということです。

スタンガンは護身用品です。いざという時に使用できなければ意味がありません。いざという時に備え、無駄な放電や充電は避けましょう。

説明書・注意事項

動作(放電)テストは1回1秒以内です!
無駄な放電や連続使用、充電は絶対にしないでください。
回路が焼け焦げて動作しなくなります!(スタンガンの寿命)

○使わない時

- ①充電、セキュリティピンストラップの装着を確認します。
- ②本体横のモードスイッチをOFFにします。
(誤って放電スイッチを押しても放電しません)

○使うかもしれない時

- ①充電、セキュリティピンストラップの装着を確認します。
- ②モードスイッチを放電モードの位置にしておきます。
スタンバイできている場合はスイッチ近辺ランプが赤く点灯します。

※スタンガンを使用するためには

- ・十分に充電されている
 - ・セキュリティピンストラップが装着されている
 - ・モードスイッチが放電モードになっている
 - ・本体の寿命が来っていない
- 最低限この条件がそろっている必要があります。



○スタンガンを使用する場合

- ①充電、セキュリティピンストラップの装着を確認します。
- ②モードスイッチを放電モードにしておきます。

正常な待機状態では、スイッチ近くにある赤いランプが点灯します。
以下の説明は、この赤いランプが点灯している状態で行います。

○ライトモード

★ライトモード(フラッシュライトモード)

モードスイッチを真ん中のライトモードにします。本体先端のフラッシュライトが点灯します。
※フラッシュライトを使いすぎると充電が減りもしもの時に放電しなくなる可能性があります。
使いすぎにご注意ください。

○放電(スパーク)させる場合

モードスイッチを放電モード待機にしている状態で、放電スイッチを押します。
押している間放電します。指を離すとスパークが止まります。
放電のしすぎは故障の原因となりますのでご注意ください。

★将来スパークしなくなったらここを確認★

(それでもだめならスタンガン、充電電池の寿命が来た可能性があります。)

- ①本体横のモードスイッチの近くの赤いランプが点灯しているか確認
- ②充電してみる(追充電は1時間以内です)

